

エソメプラゾールカプセル 「ニプロ」を お飲みになる患者さんへ

[監修] 川西市立総合医療センター
総長 三輪 洋人 先生



薬剤師のみなさまへ
患者さんにお渡しの際のお願い

リーフレットに記載のQRコードを、患者さんのスマートフォンまたはタブレットで読み込んでいただくと、疾患および服薬についての説明動画紹介ページが開きます。

患者さんへの病態説明・服薬指導にお役立てください。

エソメプラゾールカプセル「ニプロ」を お飲みになる患者さんへ



お薬の飲み方や消化器系疾患に
ついてわかりやすく説明します。

解説動画はこちら▶

エソメプラゾールカプセル「ニプロ」は、胃酸の分泌を抑制するお薬です。胃・十二指腸潰瘍や逆流性食道炎をはじめ、非ステロイド性抗炎症薬や低用量アスピリンによる薬剤性潰瘍などの再発を抑制したり、ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）の除菌治療を補助します。



10mg



20mg

カプセル：実物大、PTPシート：50%縮小(10mg・20mg共通)

お薬の用法・用量

お薬は1日1回飲むことが基本ですが、お薬を飲む量や回数などは患者さんの年齢や症状によって異なるため、自分で判断せず、医師または薬剤師の指示に従いましょう。

あなたがお薬を飲む回数 **1日** **回(朝・夕)**

〈お薬を取り出すときの注意〉

カプセル剤をつぶさないよう、シートの透明部分を、爪を立てずに指の腹でやさしく押して取り出してください。

※カプセル剤がへこんでも内容物がこぼれていなければ、そのまま飲むことができます。内容物が外にこぼれた場合は、新しいものをお飲みください。



お薬の飲み方

- お薬は、コップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に飲みましょう。
- 飲み忘れた場合は、気がついたときにできるだけ早く、1回分を飲みましょう。
- 2回分を一度に飲むなど、誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 自分の判断でお薬を飲むことを止めないでください。

特に、ご高齢の方は、医師または薬剤師の指示を守ってお薬を飲んでください

お薬を飲むときの注意点

次のような方は、飲む前に必ず医師または薬剤師に相談してください。

- お薬や食べ物で、かゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことがある方
- 肝障害がある方
- 妊娠または授乳中の方
- 他のお薬などを使用している方

なお、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む食品は、薬の働きを弱める可能性があるため、飲み合わせに注意が必要です。

お薬を飲んだときの主な副作用

エソメプラゾールカプセル「ニプロ」では、主に次のような副作用が報告されています。

- 下痢
- 腹部膨満
- 腹痛
- 軟便
- 肝機能異常
- 胃ポリープ
- 光線過敏性反応
- 味覚異常
- びらん性胃炎
- 貧血
- 発疹

そのほかにも、お薬を飲んだあと、飲む前にはなかった症状があらわれた場合には、副作用あるいは副作用の初期症状である可能性があります。また、飲んだあとしばらくしてからあらわれる副作用もあります。

少しでも気になる症状がある場合は、お薬を飲むことをやめ、
すぐに医師または薬剤師に相談してください。





げんきくん®

ニプロ 指導箋等の取り寄せサイト(医療関係者向け)

「患者さん向け資材」はこちら ▶▶
<https://order.nipro.co.jp/items>

